

第3回／R4.10.14					
No.	プラン	委員	意見・要望事項	委員会での回答内容	対応
1	6.補助金の適正化の推進	井本会長	プラン名にある「補助金の適正化」は言葉として正しい使い方が(補助金が適正である、補助金支出が適正であるという言い方は分かるが)。国の法律では「補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律」となっている。	検討する。(例:補助金執行の適正化)	「補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律」は、補助金等の交付の申請・決定等に関する事項や補助金等の予算の執行などの基本的な事項を規定したものです。今回、お示ししているプランは、市全体の補助金に対するあり方・方針、制度自体の再確認・見直しも含んでいるため、現行のプラン名としたい。 なお、他市事例も参考に「補助金の適正化の推進」を「補助金の適正化」としたい。
2	6.補助金の適正化の推進	井本会長	見込まれる効果に記載されている「ガイドラインに沿った補助金の適正化につながる」は言葉として正しい使い方が。修正をお願いしたい。	変わる表現を検討する。 (例:沿うことにより補助金執行の適正化につながる)	「補助金ガイドライン(仮称)」に沿うことにより補助金の適正化につながる」に変更する。
3	プラン全体	森永委員	特に財政分野のプランについて、受益者負担の見直しにより施設の収支がどうなったかや、不良債権の取立額等、数字として効果額を出せるものはないか。	補助金の適正化については、正しい使途ができているか等金額に出ない部分も含めての適正化を考えており、効果額を出していない。他のプランについて効果額が算出できるか検討する。	「受益者負担の適正化」については、見直しによる効果額算出は負担金等の見直し後と見直し前の差額で効果額の算出が可能である。
4	プラン全体	岸川委員	今回のプラン自体が削減額、金額にこだわったことではないということで、「5.効果額の有無とその算出方法」について効果額が出せるものが少ないのであれば(4/13プラン)、項目をなくしてはどうか。数字がなくても成果は測れるのではないか。	新たに効果額を算出できるものを含めて検討する。	「受益者負担の適正化」のプランを含め5/13プランについて効果額の算出ができ、数字が出せるものについては効果額を算出し、プランの成果を測りたい。
5	8.受益者負担の適正化	井本会長	受益者負担と減免のプランで、この名称「受益者負担の適正化」でプランの内容が伝わるか。伝わるのであればそのままでもよい。	—	他市の事例においても同プラン名の採用は多く、現行のプラン名としたい。
6	プラン全体	井本会長 圓城寺委員	AI-OCRやRPA、OJT等市民が見ても分かるように言葉の意味を記載した方がよい。公表するものには説明を入れてください。	プラン自体は公表していないが、会議の資料としてホームページに公表しているため、難しい文言については、注釈を入れる等検討する。	難しい文言について、注釈を記載する。
7	プラン全体	荒川委員	プランについて大綱と同じように色分けしてはどうか。	分かりやすく見やすいように修正する。	プランについて大綱の4つの分野と合わせて色分けする。
8	12.DXの推進	森永委員	「5.効果額の有無とその算出方法」について効果額としているが時間数となっているので、金額で算出するか一般的な効果等に修正した方がよくないか。	削減業務時間数に職員の平均単価をかけて、効果額の算出を行っていきたい。	削減時間数に平均時給単価をかけて、実績報告時に時間的効果とあわせて金額的効果額を算出する。